

平成28年2月5日

上場会社名 株式会社テレビ朝日ホールディングス
 コード番号 9409 URL <http://www.tv-asahihd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 早河 洋
 (氏名) 香山 敬三

TEL 03-6406-1115

上場取引所 東

(百万円未満切捨)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	211,360	0.5	15,248	10.7	17,094	12.2	10,754	2.8
27年3月期第3四半期	210,348	4.6	13,780	△9.1	15,228	△10.1	10,456	10.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 14,634百万円 (△34.7%) 27年3月期第3四半期 22,394百万円 (69.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	99.24	—
27年3月期第3四半期	96.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	397,938	79.2	320,048	79.2	320,048	79.2
27年3月期	397,062	76.7	309,231	76.7	309,231	76.7

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 315,025百万円 27年3月期 304,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	279,500	1.1	16,000	5.7	18,000	7.7	11,500	4.6	106.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	108,529,000 株	27年3月期	108,529,000 株
28年3月期3Q	166,699 株	27年3月期	166,679 株
28年3月期3Q	108,362,319 株	27年3月期3Q	108,354,869 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。業績予想の前提につきましては【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、平成28年2月5日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報)	P. 9
平成28年3月期 第3四半期決算短信補足資料	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、企業収益や雇用情勢の改善などにより、緩やかな回復基調が続いています。

広告業界におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を下回るなど厳しい状況となりましたが、11月から徐々に回復傾向もみられました。

このような経済状況のなか、当社グループは、テレビ放送事業はもとより、音楽出版事業やその他事業においても収益確保に努め、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,113億6千万円(前年同期比+0.5%)、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が1,961億1千2百万円(同△0.2%)となりました結果、営業利益は152億4千8百万円(同+10.7%)となりました。また、経常利益は170億9千4百万円(同+12.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は107億5千4百万円(同+2.8%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①テレビ放送事業

タイム収入は、アドバイザーの宣伝活動において柔軟性と効率性を重視する動きから、固定費削減傾向がみられました。レギュラー番組のセールスでは、「くりいむクイズミラクル9」などのバラエティーや木曜ドラマを中心に単価の上昇を達成し、さらに新番組「イチから住」

「TOKYO応援宣言」をスタートさせて売上を伸ばしました。また、単発番組につきましては、「世界野球プレミア12」「世界水泳ロシア・カザン2015」「世界フィギュアスケート国別対抗戦2015」「MUSIC STATION ウルトラFES」などのセールスで増収を図りました。しかし、前年同期の「2014FIFAワールドカップブラジル」の反動減などにより、タイム収入合計は673億1千2百万円(前年同期比△0.2%)となりました。

スポット収入は、東京地区の広告出稿量が前年同期を下回ったことなどから減収となりました。業種別では「食品」「薬品・医療用品」などが好調な一方で、「自動車・関連品」「金融・保険」などは低迷しました。以上の結果、スポット収入は740億6千6百万円(同△4.9%)となりました。

また、BS・CS収入は187億4千3百万円(同+3.3%)、番組販売収入は94億3千7百万円(同+0.0%)、その他収入は126億8千1百万円(同△0.7%)となりました。

以上の結果、テレビ放送事業の売上高は1,822億4千3百万円(同△1.9%)、番組制作費の減少などにより営業費用は1,688億4千6百万円(同△2.8%)となりました結果、営業利益は133億9千6百万円(同+11.3%)となりました。

②音楽出版事業

「ケツメイシ」「湘南乃風」および「ソナーポケット」が全国各地でコンサートツアーを展開したことなどにより、音楽出版事業の売上高は100億7千7百万円(前年同期比+62.7%)となりました。また、営業費用は89億1千3百万円(同+62.0%)となりました結果、営業利益は11億6千3百万円(同+68.0%)となりました。

③その他事業

7月18日から37日間にわたって開催された「テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭り SUMMER STATION」が前年同期を上回る盛況となったことや、「ポール・マッカートニー アウト・ゼアー ジャパン・ツアー2015」再来日公演が寄与したことなどにより、イベント事業が増収と

なりました。一方、前年同期にヒットした「STAND BY ME ドラえもん」の反動減などにより、出資映画事業が減収となりました。以上の結果、その他事業の売上高は272億2千万円（前年同期比+1.5%）、営業費用は265億6千1百万円（同+3.0%）となりました結果、営業利益は6億5千8百万円（同△36.2%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比8億7千5百万円増の3,979億3千8百万円となりました。これは、有価証券が142億3百万円減少したものの、投資有価証券が91億9千7百万円、受取手形及び売掛金が48億6千万円、現金及び預金が40億1千万円増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末比99億4千1百万円減の778億9千万円となりました。これは、退職給付信託の設定などにより退職給付に係る負債が96億8千7百万円減少したことなどによります。また、純資産合計は、前連結会計年度末比108億1千7百万円増の3,200億4千8百万円となりました。この結果、自己資本比率は79.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、スポット収入が前回予想（平成27年11月6日発表）に比べて順調に推移していることや、引き続きコストコントロールに努めることで、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも前回予想を上回る見通しであります。

平成28年3月期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	278,500	15,000	17,000	10,500	96.90
今回修正予想(B)	279,500	16,000	18,000	11,500	106.13
増減額(B-A)	1,000	1,000	1,000	1,000	
増減率(%)	0.4%	6.7%	5.9%	9.5%	
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	276,473	15,138	16,712	10,994	101.47

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,427	12,438
受取手形及び売掛金	71,927	76,788
有価証券	75,102	60,899
たな卸資産	8,953	11,242
その他	17,315	13,814
貸倒引当金	△83	△81
流動資産合計	181,643	175,102
固定資産		
有形固定資産		
土地	38,539	39,623
その他(純額)	47,693	46,178
有形固定資産合計	86,233	85,801
無形固定資産		
その他	10,538	9,327
無形固定資産合計	10,538	9,327
投資その他の資産		
投資有価証券	103,562	112,759
その他	15,231	15,094
貸倒引当金	△146	△146
投資その他の資産合計	118,647	127,707
固定資産合計	215,419	222,836
資産合計	397,062	397,938
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,301	8,595
未払法人税等	4,596	2,504
役員賞与引当金	61	37
その他	47,175	44,610
流動負債合計	58,134	55,747
固定負債		
役員退職慰労引当金	370	297
退職給付に係る負債	17,896	8,208
その他	11,429	13,636
固定負債合計	29,696	22,142
負債合計	87,831	77,890

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,642	36,642
資本剰余金	70,168	70,168
利益剰余金	173,323	180,278
自己株式	△332	△332
株主資本合計	279,801	286,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,505	25,310
繰延ヘッジ損益	3,762	3,416
為替換算調整勘定	△1	△4
退職給付に係る調整累計額	△616	△454
その他の包括利益累計額合計	24,649	28,267
非支配株主持分	4,779	5,023
純資産合計	309,231	320,048
負債純資産合計	397,062	397,938

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	210,348	211,360
売上原価	147,604	148,618
売上総利益	62,744	62,742
販売費及び一般管理費	48,963	47,493
営業利益	13,780	15,248
営業外収益		
受取利息	115	117
受取配当金	850	1,026
持分法による投資利益	287	430
その他	736	423
営業外収益合計	1,991	1,998
営業外費用		
固定資産廃棄損	517	75
会員権評価損	-	50
その他	25	27
営業外費用合計	542	152
経常利益	15,228	17,094
特別利益		
投資有価証券売却益	-	138
段階取得に係る差益	1,085	-
特別利益合計	1,085	138
特別損失		
投資有価証券売却損	115	-
投資有価証券評価損	169	-
特別損失合計	285	-
税金等調整前四半期純利益	16,028	17,233
法人税等	5,351	6,217
四半期純利益	10,677	11,015
非支配株主に帰属する四半期純利益	220	261
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,456	10,754

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	10,677	11,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,970	3,790
繰延ヘッジ損益	2,521	△346
為替換算調整勘定	17	△2
退職給付に係る調整額	201	162
持分法適用会社に対する持分相当額	7	15
その他の包括利益合計	11,717	3,618
四半期包括利益	22,394	14,634
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,174	14,372
非支配株主に係る四半期包括利益	220	262

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	183,487	5,962	20,898	210,348	—	210,348
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,223	230	5,920	8,374	△8,374	—
計	185,710	6,193	26,819	218,722	△8,374	210,348
セグメント利益	12,036	692	1,031	13,760	19	13,780

(注) 1. セグメント利益の調整額 19 百万円は、セグメント間取引消去△55 百万円、当社における子会社からの収入 1,478 百万円および全社費用△1,403 百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	180,212	9,857	21,291	211,360	—	211,360
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,030	219	5,928	8,179	△8,179	—
計	182,243	10,077	27,220	219,540	△8,179	211,360
セグメント利益	13,396	1,163	658	15,218	29	15,248

(注) 1. セグメント利益の調整額 29 百万円は、セグメント間取引消去△53 百万円、当社における子会社からの収入 1,536 百万円および全社費用△1,452 百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

平成28年3月期 第3四半期決算短信補足資料

1. 連結損益計算書

(単位：百万円)

	27年3月期第3四半期	28年3月期第3四半期	前年同期比	
売上高	210,348	211,360	1,012	0.5%
タイム収入	67,480	67,312	△ 167	△ 0.2%
スポット収入	77,875	74,066	△ 3,808	△ 4.9%
番組販売収入	9,056	9,061	5	0.1%
BS・CS収入	18,065	18,641	576	3.2%
その他収入	11,009	11,129	119	1.1%
音楽出版収入	5,962	9,857	3,894	65.3%
その他事業収入	20,898	21,291	392	1.9%
営業費用	196,568	196,112	△ 455	△ 0.2%
営業利益	13,780	15,248	1,468	10.7%
売上高営業利益率	6.6%	7.2%	0.6%	
営業外収益	1,991	1,998	7	0.4%
(うち持分法による投資利益)	(287)	(430)	(143)	(49.8%)
営業外費用	542	152	△ 389	△ 71.8%
経常利益	15,228	17,094	1,865	12.2%
売上高経常利益率	7.2%	8.1%	0.9%	
特別利益	1,085	138	△ 946	△ 87.2%
(うち投資有価証券売却益)	(—)	(138)	(138)	(—)
(うち段階取得に係る差益)	(1,085)	(—)	(△ 1,085)	(—)
特別損失	285	—	△ 285	—
(うち投資有価証券売却損)	(115)	(—)	(△ 115)	(—)
(うち投資有価証券評価損)	(169)	(—)	(△ 169)	(—)
税金等調整前四半期純利益	16,028	17,233	1,204	7.5%
法人税等	5,351	6,217	865	16.2%
四半期純利益	10,677	11,015	338	3.2%
非支配株主に帰属する四半期純利益	220	261	41	18.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,456	10,754	297	2.8%

2. セグメント情報

(単位：百万円)

	27年3月期第3四半期	28年3月期第3四半期	前年同期比	
テレビ放送事業				
売上高	185,710	182,243	△ 3,467	△ 1.9%
タイム収入	67,480	67,312	△ 167	△ 0.2%
スポット収入	77,875	74,066	△ 3,808	△ 4.9%
番組販売収入	9,434	9,437	3	0.0%
B S ・ C S 収入	18,148	18,743	594	3.3%
その他収入	12,771	12,681	△ 89	△ 0.7%
営業費用	173,673	168,846	△ 4,827	△ 2.8%
営業利益	12,036	13,396	1,360	11.3%
音楽出版事業				
売上高	6,193	10,077	3,883	62.7%
営業費用	5,501	8,913	3,412	62.0%
営業利益	692	1,163	471	68.0%
その他事業				
売上高	26,819	27,220	400	1.5%
営業費用	25,787	26,561	774	3.0%
営業利益	1,031	658	△ 373	△ 36.2%
調整額				
売上高	△ 8,374	△ 8,179	195	△ 2.3%
営業費用	△ 8,394	△ 8,209	184	△ 2.2%
営業利益	19	29	10	52.7%
合 計				
売上高	210,348	211,360	1,012	0.5%
営業費用	196,568	196,112	△ 455	△ 0.2%
営業利益	13,780	15,248	1,468	10.7%

「その他事業」セグメント 売上高の明細

(単位：百万円)

	27年3月期第3四半期	28年3月期第3四半期	前年同期比	
イベント事業収入	4,534	6,030	1,495	33.0%
ショッピング事業収入	5,142	5,916	774	15.1%
インターネット関連収入	3,669	4,339	669	18.3%
機器販売・リース料収入	2,762	2,912	150	5.4%
DVD販売収入	1,957	1,363	△ 594	△ 30.4%
出資映画事業収入	2,803	1,022	△ 1,781	△ 63.5%
その他	5,949	5,635	△ 313	△ 5.3%
合 計	26,819	27,220	400	1.5%